

ファイナンス面から見た PF導入のポイント

平成15年12月16日

日本政策投資銀行 北海道支店

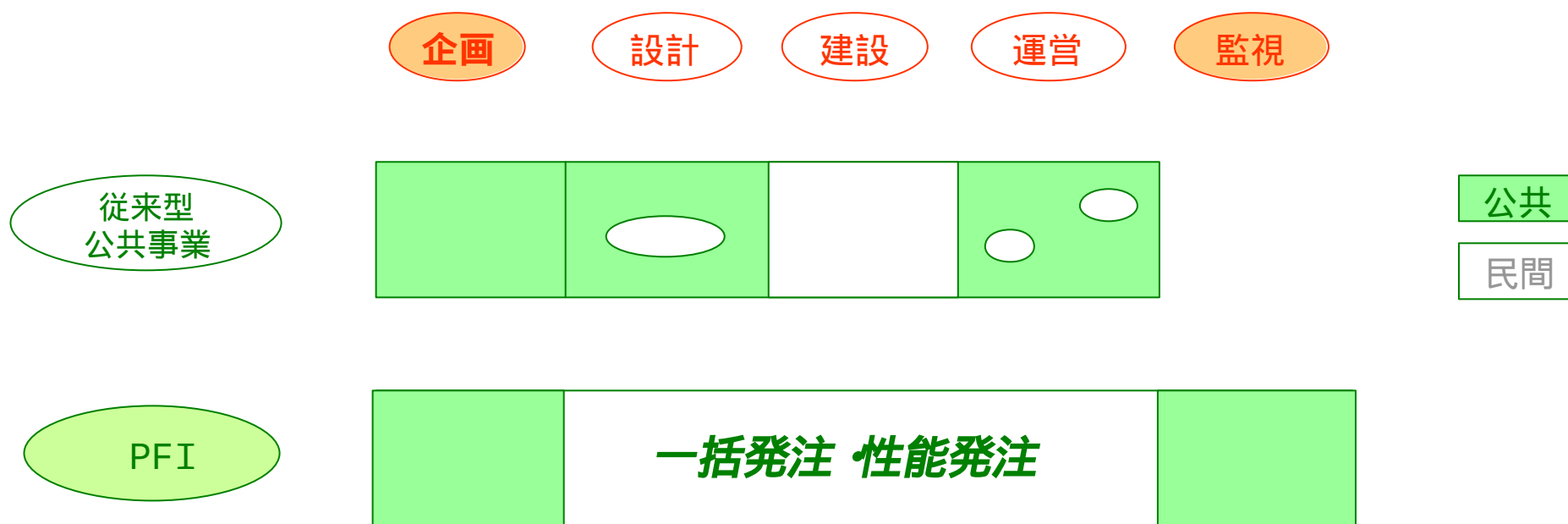


DBJ

日本政策投資銀行
北海道支店

<http://www.hokkaido.dbj.go.jp/>¹

PFとVFM(1)



財政負担の比較は建設費だけではなく
長期間の運営費等を含めたトータルコストの比較

PFとVFM(2)

民間の創意工夫、民間へのリスク移転がVFMの源泉

(従来型公共事業の財政負担 :PSC)

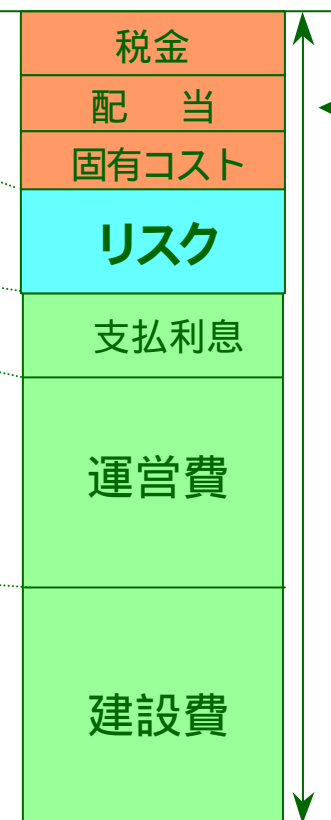
(PF方式の財政負担)

< 民間移転するリスク >

建設費増加、
完成遅延、
運営費増加、
維持 修繕費用変動 等



VFM



財政負担軽減
額の一部から
民間利益捻出

公共からPF事業者
への支払額
(サービス購入料)

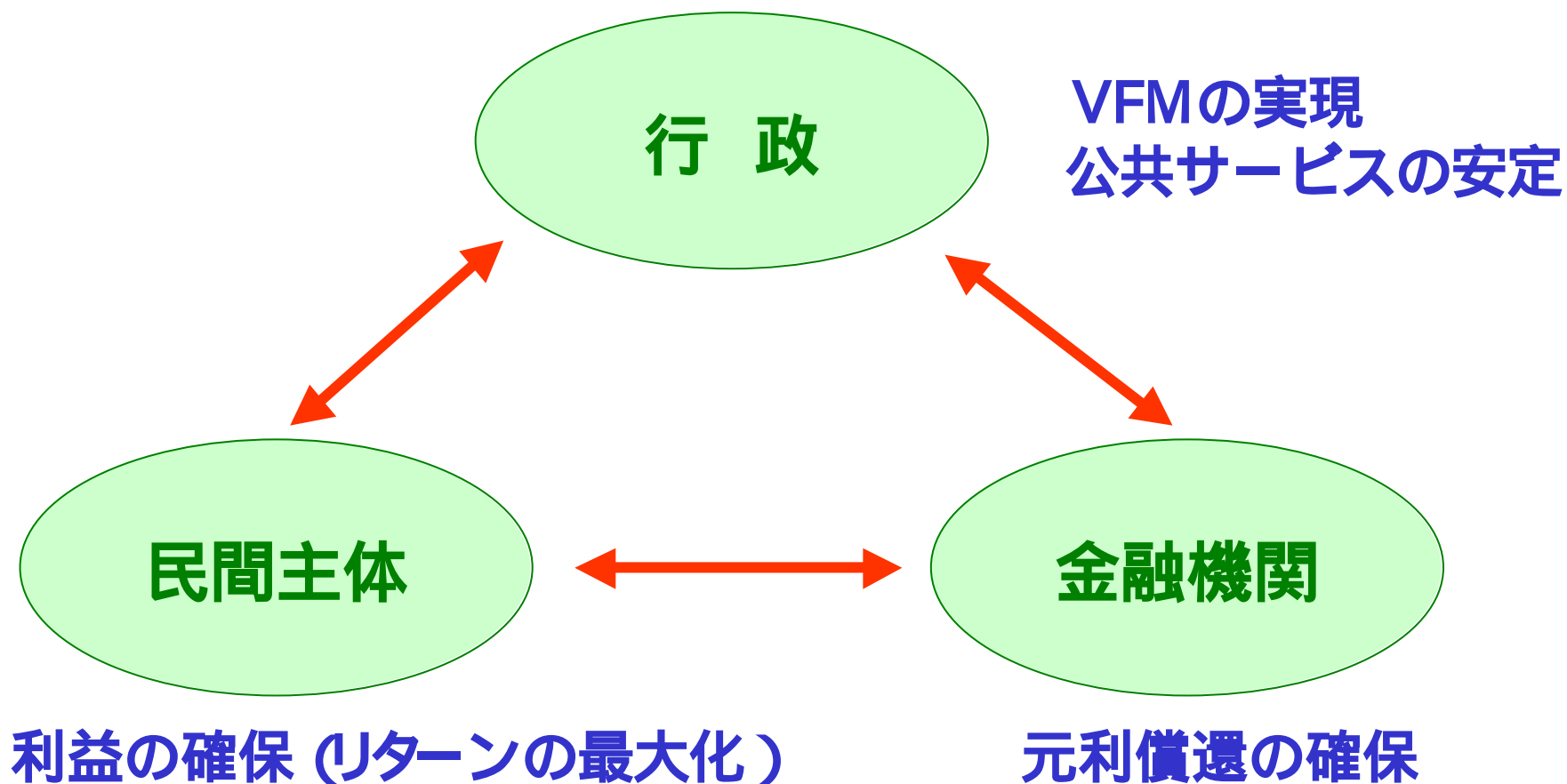


DBJ

日本政策投資銀行
北海道支店

<http://www.hokkaido.dbj.go.jp/>³

PFとVFM(3)



⇒ プレーヤー全員の利益への寄与が必要

PFとVFM(4)

VFMの最大化に軸足をおく事業構築は
関係者（公共、民間事業者、金融機関）全員の利益に寄与

PF手法により達成すべき公共施設運営の「形」に対する明確な理
（公共サイドの前向き、かつ戦略的発想が出发点

民間の創意工夫を喚起する発注 ← 性能発注、運営重視、適切なリスク移



VFMの拡大



財政負担の軽減



民間が適正報酬を得やすくなる



民間事業者のモチベーション向上、事業安



リスクに対応した適切な



金融機関によるファイナンス組成が円滑化



融資条件設定が可能

DBJ

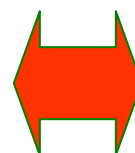
日本政策投資銀行
北海道支店

良質な公共サービスを効率的に提供することが可能（→ PFへの更なる取り組み）

<http://www.hokkaido.dbj.go.jp/>

プロジェクトファイナンス(1)

コーポレート
ファイナンス



プロジェクト
ファイナンス

事業主体

借入人

出資者

借入人

既存企業

特別目的会社(SPC)

返済財源

企業全体の
事業収益

当該事業の収益のみ

担保

企業信用力及び
所有財産 親会社等

当該事業資産及び権利

審査

企業財務分析・
業績予測

事業採算 事業リスク

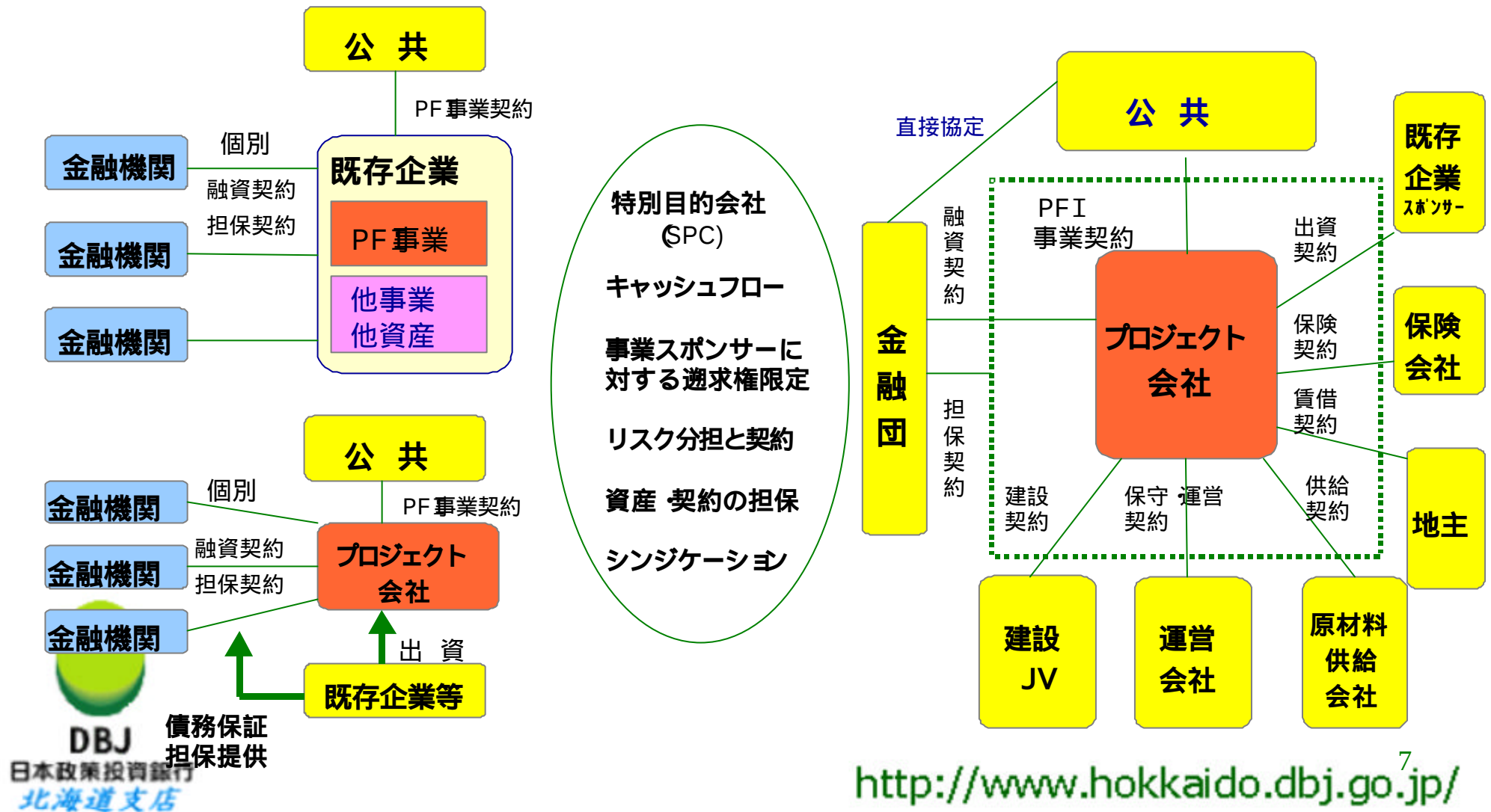


DBJ

日本政策投資銀行
北海道支店

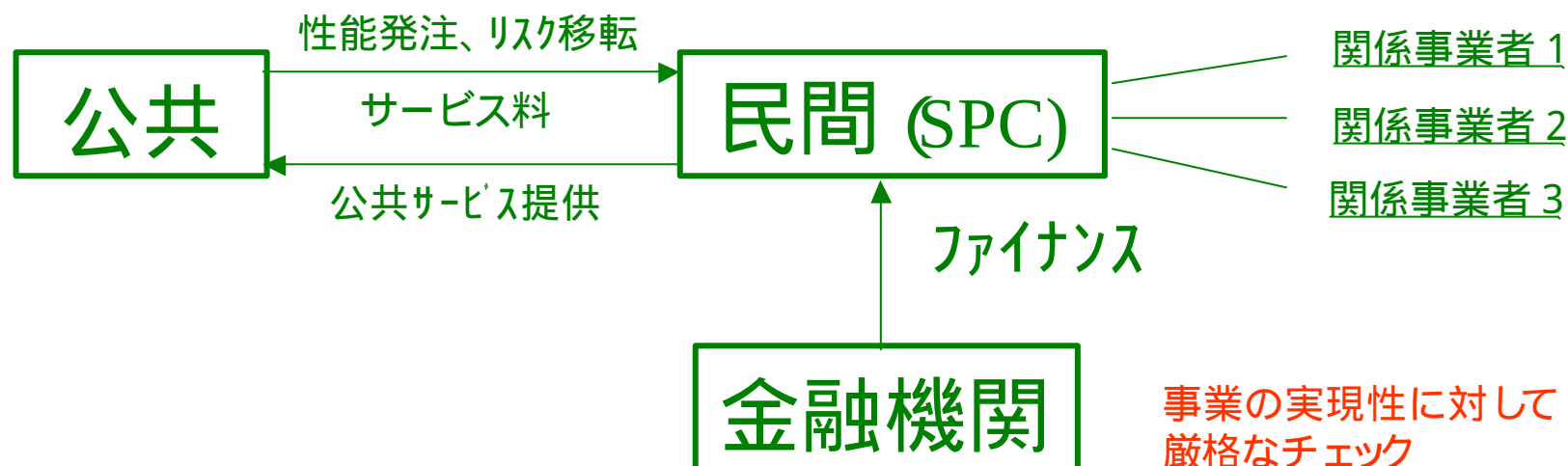
<http://www.hokkaido.dbj.go.jp/>

プロジェクトファイナンス(2)



プロジェクトファイナンス(3)

- 公共から民間へのリスク移転を担保するためのメカニズム -



プロジェクトファイナンス(4)

< プロジェクトファイナンス形態をとるメリット >

公共サイド

- 最適リスクアロケーションの達成による事業効率性の向上
- 長期事業継続の安定性向上 (超長期間の企業信用力の制約からの開放)
- 金融機関によるアレンジメント、モニタリング機能の発現に期待可能

事業者サイド

- 最適リスクアロケーションを達成
- オフバランスの達成

金融機関

- 事業リスクの個別精査による合理的リスク・リターンのプロファイル構築



DBJ

日本政策投資銀行
北海道支店

ファイナンスサイトからみたポイント(1)

- 適切なリスク分担
- プロジェクトの実行可能性
- 返済可能なキャッシュフローの確保
- 事業の継続性の確保



ファイナンスサイトからみたポイント(2)

1. 官民リスク分担は適切か。
2. 民間に移転されたリスクはコンソーシアムの中で適切にアロケーションされているか。
3. 事業に内在するリスクは十分に抽出され、リスク分担及び対応策は具体的かつ明確になされているか。
4. プロジェクトに関係する各主体は、自らの業務を担う能力を有しているか。
5. プロジェクト・キャッシュフローに余裕があるか。Volatilityはどうか。
6. プロジェクトに関係する各主体は、事業期間にわたって事業を継続する経済的モチベーションを有しているか。
7. プロジェクトに関係する各主体は、代替可能か。
8. Step-inを含め事業治癒、事業継続に対する公共サイドと金融機関の間の共通認識が形成されているか (DA等)。

今後の展開方向

- 公共ニーズの高い事業における活用
- 民間の工夫の余地の高い事業における活用
運営面に重点をおいた事業へ
- 複合化した事業における活用



DBJ

日本政策投資銀行
北海道支店